

ENT-10

医療用ステンレス器材のサビ・熱ヤケ除去剤

鉗子・耳鏡・鼻鏡・ピンセットなどの器材表面、ガラスネブライザー球の透明部分が、サビなどの無機物により変色してなかなか除去できない汚れを、ENT-10は浸漬しておくだけで除去します。

使用方法

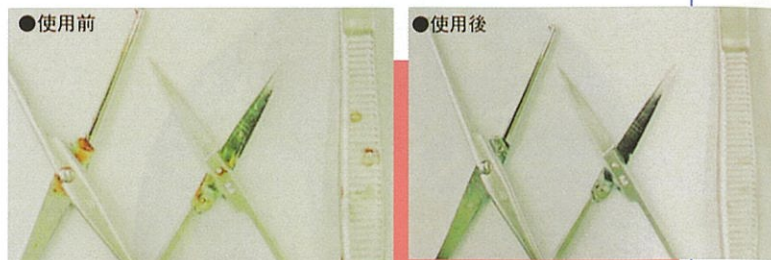
- 原液（もしくは2倍希釈液）をご使用ください。
- 器材は完全に溶液に浸漬してください。
- 浸漬時間は2時間を目安に、除去程度を確認し時間調整を行ってください。また、あらかじめ器材への影響も確認してください。
- 器材は水道水で充分すすいでください。
- 溶液は繰り返しご使用できます。溶液の揮発を防ぐことのできるフタ付きの容器をご使用ください。溶液色が茶褐色になってきたら新しい液を作製してください。

主成分

- 有機化合物・無機化合物・非イオン界面活性剤

使用上の注意

●本品は弱酸性のため塩素系殺菌剤および洗浄剤との併用および混合は絶対に避ける。●使用時は防護メガネ・マスクおよびゴム手袋を着用し、液が飛散しないように注意する。●眼に入った場合は直ちに流水で15分以上水洗し、医師の処置を受ける。●皮膚に付着した場合は、直ちに多量の水で洗い流す。異常を感じるならば、医師の処置を受ける。●飲み込んだ場合は、口の中を水で洗い、水又は牛乳を飲む。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。●器材の種類によっては変化をきたす場合がありますので、あらかじめ試験を行ってからご使用ください。●子供の手の届かない安定した場所に保管する。●本品は酸性です。排出の際は大量の水と共に排出するか、アルカリ性物質で中和後、多くの水と共に排出する。また、流しなどに廃液が残らないようにしてください。●使用時の溶液濃度、浸漬時間は汚染状況によって調節してください。●浸漬容器はプラスチックあるいはガラス容器を使用し、必ず蓋をして保管してください。●水分が揮発すると結晶が発生し、ご使用できなくなります。●溶液より器材が出てくる箇所が変色する場合がありますので、器材は完全に浸漬してください。また、一度に多くの本数の処理を避けて、他の器材と接触しない程度の本数を溶液に完全に浸漬してください（他の金属との接触箇所に変色を生じることがあります）。●医療用ステンレス器材、ガラス器材以外に使用するものは避ける。メッキを施した器材や真鍮器材などには向きません。



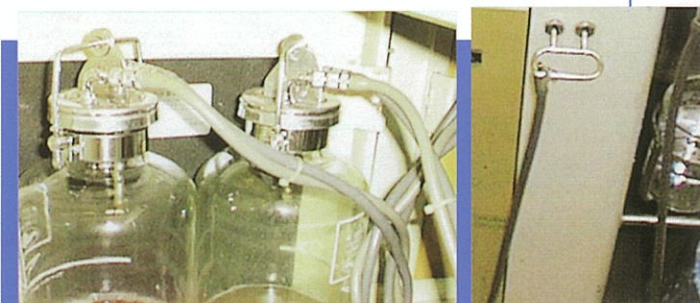
ENT-20

ユニットの吸引導管用除菌洗浄剤

ENT-20はユニットの吸引導管内の汚れを除去するクリーナーです。除菌剤を配合した低泡性の洗浄液が導管内の汚れを除去すると共に汚物ピンの除菌洗浄を行いますので清掃作業が楽に行なえます。

使用方法

- 診療後スポット洗浄する場合
1日の診療終了後、原液あるいは10倍希釈液を300ml吸引し、その後水を等量あるいは倍量吸引して充分すすいでください。本剤吸引後はできるだけ導管内に溶液を滞留（1時間～1晩）させるとさらに効果的です。
- 患者間ごとに洗浄する場合（患者ごとに吸引導管を交換する場合）
一人の患者診療後に吸引導管先端より200倍希釈液（水5リットルに本剤25ml）を100ml吸引します。このとき面倒な吸引導管洗浄も同時に行うことができ汚物のつまりを防止できます。導管内は終日に水あるいはお湯で充分すすいでください。
※導管内部の洗浄も行えますが、外部洗浄とさらに洗浄度アップを行うために、ENT-30を使用した、吸引導管専用洗浄具（スキュード）を使用することによって多くの吸引導管を短時間で洗浄できます。



●粘性のある汚染物を吸引するユニットの吸引導管の清浄化。

主成分

- 分散剤・金属イオン封鎖剤・金属腐食防止剤・トリアジン系除菌剤

使用上の注意

●使用時は防護メガネ・マスクおよびゴム手袋を着用し、液が飛散しないように注意する。●眼に入った場合は直ちに流水で15分以上水洗し、医師の処置を受ける。●皮膚に付着した場合は、直ちに多量の水で洗い流す。異常を感じるならば、医師の処置を受ける。●飲み込んだ場合は、口の中を水で洗い、多くの水を飲む。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。●ステンレス以外の金属器材、ゴム製品、プラスチックなどの種類によっては変化をきたす場合があるので、あらかじめ試験を行ってください。●子供の手の届かない安定した場所に保管する。●他の薬剤との混合は避ける。●汚物と共に汚物ピンに吸引された本剤の廃液清掃作業は、感染防止のため適切な保護具を着用し、充分注意して作業してください。●本剤はアルカリ性です。排出の際は大量の水に希釈して排出するか、酸性物質で中和後、多くの水と共に排出する。

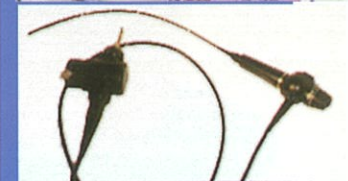
ENT-30

高力価の蛋白分解酵素を配合した中性洗浄剤

ENT-30は、耳鼻咽喉科分野で使用される様々な器材の洗浄剤として、ブラッシング洗浄や浸漬洗浄など幅広い用途でご使用できます。器材へのダメージを抑えたマイルドな中性洗浄剤ですので、内視鏡洗浄剤としても使用できるクリーナーです。

使用方法

- ブラッシング洗浄の場合
原液～100倍溶液（水10リットルに本剤100ml）で、ブラッシングしてください。その後充分に水洗いしてください。
※ブラッシングの際は感染防止のためにゴム手袋、防護メガネ・マスク、防護エプロンなどを着用してください。希釈溶液中でブラッシングを行うと、洗浄液の飛散を防止できます。
- 浸漬洗浄の場合
50～100倍溶液（水10リットルに本剤200～100ml）に10～30分間、完全に器具を浸漬し、その後充分に水洗いしてください。
※洗浄時間は汚染状況によって適宜調整してください。 ※希釈液温度を45℃程度に加熱するとさらに効果的に洗浄できます。
- 内視鏡洗浄の場合
100～120倍希釈液で外側の汚物をふき取りながら洗浄した後、希釈液を約5秒間吸引しそのまま、2～15分間浸漬してください。その後、鉗子口付近、吸引ボタン付近をブラシで洗浄し、吸引チャンネル内も専用のブラシを使用して2回以上ブラッシングしてください。浸漬後はシリンジや全管路注入装置などを利用して、チャンネル内および細部をよくすすいでください。
※詳しくは、日本消化器内視鏡技師会「内視鏡洗浄・消毒に関するガイドライン」、日本消化器内視鏡学会消毒委員会「日本消化器内視鏡機器洗浄・消毒ガイドライン」を参照ください。



主成分

- 高力価蛋白分解酵素・非イオン界面活性剤・水溶性溶剤・防腐剤・金属腐食防止剤

使用上の注意

●酵素安定性を保つため、保管は常温あるいは冷蔵所で保管する。直射日光、雨水があたる場所には保管しない。●作製した液は、一日使用されれば、交換してください。●使用時は防護メガネ・マスクおよびゴム手袋を着用し、液が飛散しないように注意する。●眼に入った場合は、直ちに流水で15分以上水洗し、医師の処置を受ける。●皮膚に付着した場合は、直ちに多量の水で洗い流す。異常を感じるならば、医師の処置を受ける。●飲み込んだ場合は、口の中を水で洗い、多くの水を飲む。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。●ステンレス以外の金属や樹脂の種類によっては変色させたり錆びさせたりすることがあるので、あらかじめ試験を行ってください。●他の薬剤、特に塩素系化合物は酵素を著しく劣化させるので、混合しない。●排出の際は、水とともに排出してください。●子供の手の届かない安定した場所に保管する。

ENT-40

耳鼻咽喉科用塩素系除菌洗浄剤

ENT-40は、食品添加物グレードの次亜塩素酸ナトリウムと洗浄助剤を配合し、「除菌」「洗浄」を1剤で行える耳鼻咽喉科用除菌洗浄剤です。ネブライザー球・マウスピース・ノーズピース・超音波ネブライザー・薬剤槽・吸気ホース（蛇管）等のネブライザー機器周辺のガラス器材・プラスチック器材に使用できます。

使用方法

- 50倍希釈溶液（水10リットル中に本剤200ml）に器材を完全に浸漬してください。
- ◎希釈濃度は右表を参考にし、汚染状況により、設定する塩素濃度・浸漬時間を調整してください。
- ◎金属器材の使用は避けてください。
- ◎温湯での希釈は避けてください。
- ◎器材は水道水で充分すすいでください。

主成分

- 次亜塩素酸ナトリウム（食品添加物） 洗浄助剤（食品添加物）

使用上の注意

●塩素安定性を保つため、保管は常温あるいは冷蔵所で保管する。直射日光、雨水があたる場所には保管しない。●使用時は防護メガネ・マスクおよびゴム手袋を着用し、液が飛散しないように注意する。●眼に入った場合は、直ちに流水で15分以上水洗し、医師の処置を受ける。●皮膚に付着した場合は、直ちに多量の水で洗い流す。異常を感じるならば医師の処置を受ける。●飲み込んだ場合は、口の中を水で洗い、多くの水又は牛乳を飲む。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。●樹脂・ゴム製品・プラスチック等の種類によっては変化をきたす場合がありますので、あらかじめ試験を行ってください。●金属器具には使用しない。●次亜塩素酸ナトリウム配合のため、酸性薬品や酸性洗浄剤と混合すると有毒な塩素ガスが発生するので絶対に混合しない。●本剤は塩素系アルカリ剤です。排出の際は大量の水で希釈して排出するか、ハイポなどで脱塩素後、酸性物質で中和したものを多くの水と共に排出する。●他の薬剤との混合は避ける。●子供の手の届かない安定した場所に保管する。●本品は医薬品ではありません。

ENT-40を希釈して得られる有効塩素濃度（希釈液を10リットルつくる場合）

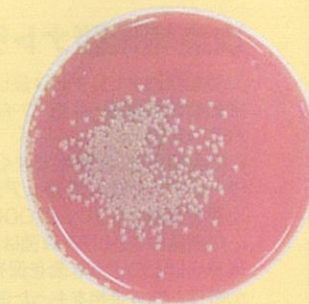
期待される有効塩素濃度	水 量	ENT-40添加量
約 1,000ppm	9,800ml	200ml
約 500ppm	9,900ml	100ml
約 100ppm	9,980ml	20ml

使用後の器材はこんなに汚染されています。

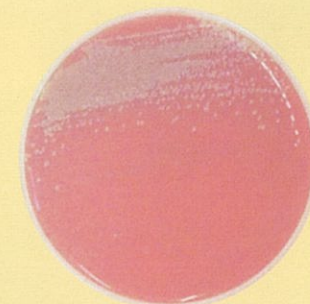
[試験：1]



●使用後の超音波ネブライザーより30秒間、寒天培地に直接噴霧する。また、吸気ホース（蛇管）内部を滅菌綿棒によりふき取り、菌の確認を行った。



●噴霧した培地



●ふき取り採取した培地

[試験：2]



●患者使用直後のノーズピースを直接培地に接触させた。

[試験：3]

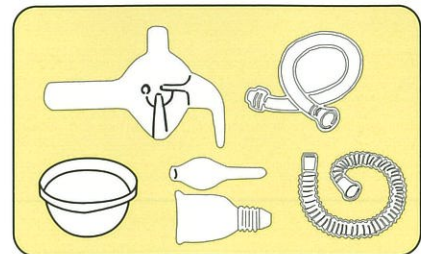


ENT-40（50倍希釈溶液）に約30分浸した。



各器材を汚れ（タンパク質）に呈色反応する試験薬「アミドブラック10B」で確認した。（※写真の青色部分が残留する汚染物）

使用方法例



ノーズピース・マウスピース・ネブライザー球・薬剤槽・蛇管などの器材を、患者使用後はまたは、診療終了時にそのまま希釈溶液に浸漬してください。



9800mlの水に本剤200mlを添加すると有効塩素濃度約1,000ppmの溶液ができます。この溶液が、「菌の減少」と「洗浄力」の両効果を発揮します。



ガラスネブライザー球の内部、特に毛細管部は非常にすすぎにくい箇所です。貯水に完全に器材を浸漬して、内部まで水が充分入るよう繰り返しすすぎを行ってください。